

おめでた (敬称略)

住所	氏名	月日	保護者名
角田	平河内詩乃 ^の	8/15	寿明・千鶴
松風3	飛谷 侑里 ^{ゆり}	8/19	幸治・奈季沙
松風4	石井 大和 ^{やまと}	8/28	元太・恵
角田	近藤 安莉 ^{あかり}	9/2	敬介・茜
松風3	滝本 奈々 ^{なな}	9/5	祐輔・愛

おくやみ (敬称略)

住所	氏名	年齢	月日	世帯主
富士	加賀谷 豊	72	8/15	本人
湯地	水本 典宏	59	8/17	本人
中央2	永井 季雄	103	8/18	本人
中央3	紙屋 洋	75	8/21	本人
松風4	尾崎美代子	85	8/22	本人
中里	小松 茂	81	8/26	本人
角田	菖蒲 正志	78	8/26	本人
松風2	阿部ノブ子	77	8/27	本人
松風2	河鱒トシ子	93	8/28	本人
継立	水本恵美子	92	8/28	本人
松風2	竹鼻 武康	90	9/4	本人
継立	村上 庄祐	88	9/7	本人
松風4	池田 只志	88	9/14	本人

ご厚意

町へ	
金品 (総務寄附金)	池田 妙子さん(湯地)
金品 (教育寄附金)	飯沼 紀さん(継立)
物品	公益社団法人 岩見沢地方法人会

社会福祉協議会へ	
金一封	谷口 温松さん(富士)

くりのさとへ	
物品	株式会社クオス(松風2) なの花薬局栗山店(朝日2) 丸勝給水設備工業株式会社(中央1)

泉徳苑・一草庵へ	
寄贈	カインドネスシオミ薬品(松風3) HOKKAIDO 大久保ファーム(継立)

令和2(2020)年度
栗山町ふるさと応援寄附金
令和2年4月1日から令和2年8月31日までの総数 8,241件
101,234,000円
【問い合わせ】
町経営企画課地域政策グループ ☎ 73-7502

人のうごき

人口	11,501人	(-20)
男	5,327人	(-14)
女	6,174人	(-6)
世帯数	5,814世帯	(-5)

※9月1日現在、()内は前月比です。

こちら町長室 Vol.28



今年も素晴らしい豊穡の秋を迎え、安堵！

町民の皆さん、こんにちは。
肌寒くなり、秋の深まりを感じる季節となってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

8月22日には、夕張川自然再生協議会(高橋橋会長)主催の「雨煙別川いい川づくりシンポジウム」に参加しました。

本町では、自然関係団体や青年団体などが連携し、平成19年より13年間にわたり、故郷のシンボルである夕張川、また、その支流の雨煙別川において、サケの稚魚放流会や河川清掃活動など、サケ・マスの自然産卵に向けた各種運動事業が展開されています。

この間の地道な活動が国をも動かし、平成27年には、念願でありました栗沢頭首工への魚道整備が実現し、それが昨年より町が実施している「雨煙別川かわまちづくり事業」へと繋がってきたところです。

シンポジウムでは、北海道札幌建設管理部岩見沢出張所の八幡和則室長から、「雨煙別川の環境整備事業」について説明を受けた後、これまで長年にわたり、本町の自然再生活動にお力添えをいただいている、一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長、株式会社ハブの坂本貴昭部長から、ご講演をいただきました。

そして、9月12日には、栗山青年会議所(山本克幸理事長)主催の「故郷の川クリーン大作戦とサケの産卵床づくり」に参加しました。

町内外から70人ほどが参加し、雨煙別川の清掃を行ったほか、妹尾所長の指導のもと、サケの習性と産卵床づくりについての学習会が行われました。

関係団体皆さんの「夢」である、故郷の川へのサケの自然回帰、そして、町内市街地を流れる雨煙別川に架かる5つの橋の上から、多くの子どもたちの夢を乗せて放流したサケが、遡上する姿を見られる日が来ることを、私も念願しています。

8月27日には、本町の基幹作物である種子馬鈴薯と玉葱のほ場を視察しました。

まず、地域共同で種子馬鈴薯の収穫

作業を行っている、桜山地区の日置正敏さんのほ場を視察しました。

ほ場では、町と連携協定を結んでいる北海道大学の「くりやま農業応援隊」の学生3名が、農作業のサポートに入っていたいております。

今年は、7月の降雨量が少なかったことが要因で、球数は少なめでしたが、球形やサイズは、平年よりも良かったとのことでした。

次に、玉葱の収穫作業を行っている、三日月地区の山田晃博さんのほ場を視察しました。

平年より3日ほど早く収穫作業が始まったとのことで、視察時には、収穫作業のピークを迎えていました。

7月頃までは、平年より数日、生育が遅れ気味でしたが、8月の好天で、球径も球数も平年並みだったようです。

現在、水稲はじめ、ほとんどの基幹作物の収穫作業を終えられ、台風など自然災害に見舞われることなく、今年も素晴らしい豊穡の秋を迎え、心から安堵しているところです。

もう一つ、町民皆さんに嬉しいお知らせがあります。

小林酒造株式会社(小林米三郎代表取締役社長)の「北の錦純米大吟醸暖簾ラベル」が、フランスで2017年から開催されている日本酒コンクール「KURA MASTER」で、最高賞のプラチナ賞を受賞、また出品酒824点のうちのTOP18、大吟醸部門TOP5にも選ばれました。

素晴らしい快挙であり、栗山町にとっても誇りです。

小林社長はじめ小林酒造の皆さん、この度の受賞、本当におめでとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、延期されていた町内小学校や保育園などの運動会が、8月後半から9月にかけて行われ、子どもたちは元氣いっぱい頑張りました。

町民の皆さん、コロナ禍は完全に収束してありませんが、「新生活様式」を実践しながら、子どもたちに負けぬよう頑張ってください。

栗山町長 佐々木 学



雨煙別川いい川づくりシンポジウムに出席しました。



町内ほ場を視察しました。



故郷の川クリーン大作戦に参加しました。

【9月の来客】



植村直美道議会議員 徳永エリ参議院議員



小岩金剛 西村専次会長 岸まきこ参議院議員

【今月の主な動向】※変更となる場合があります。

10月1日(木)	職員採用辞令交付	10月7日(木)	防衛白書概要説明(北海道防衛局)	10月22日(木)	東京栗山会議員寄附来庁
	地域おこし協力隊(農業振興公社)辞令交付	10月9日(金)	北海道議会議員来庁	10月23日(金)	南空知ふるさと市町村組合第2回理事会
	南空知消防組合議会定例会	10月14日(金)	まちなかレストラン創出事業キックオフ	10月25日(日)	伊達忠一氏桐花大授章受章を祝う会
10月2日(金)	百歳記念誕生祝品贈呈	10月15日(土)～11月11日(金)	まちづくり懇談会	10月27日(火)	政策懇談会(北海道町村会)
10月3日(土)	栗山消防団幹部会議	10月18日(日)	ふるさとまち元氣フェスティバル		空知町村会第5回臨時総会・意見交換会
10月5日(月)	衆議院議員国政報告会	10月20日(火)	北海道社会貢献賞伝達		
	農林水産省農村振興局長来町				

▼依然としてコロナ禍ではありますが、少しずつ行事なども再開しつつあります。今月15日から、町内25カ所で「まちづくり懇談会」が開催されます。町民の皆さんの声を聞く貴重な場ですので、ぜひ足を運んでいただければと思います。

▼継立子どもみこしと傘おどりの取材に行きました。公私ともに、継立の祭りを見るのは初めてです。賽銭箱やみこしをかつぎ、太鼓と打ち手が乗った山車を引っ張る、元気な子どもたちの姿に、歩道で見守る方々も笑顔で手を振っていました。女の子の中には、子どもみこしの後に傘おどりに参加する子もいて、疲れを感じさせない見事なおどりを披露していました。

▼先般、河川清掃に参加しました。河川敷にも川の中にもゴミがたぐさんあり、そのほとんどがペットボトルやレジ袋などの生活ゴミでした。自然環境を良くするの、悪くするの、みんなで、すぐく環境問題を考えさせられた一日でした。

(武岡)